

# 二宮町役場新庁舎建設特別委員会議記録

1. 期 日 平成 31 年 3 月 26 日 (火) 開会 13 時 30 分  
閉会 14 時 53 分
2. 場 所 第 1 委員会室
3. 議 題
1. 基本構想・基本計画案について  
(1) 予算議決後の町スケジュールの確認
4. 出席者 根岸委員長、渡辺副委員長、羽根委員、松崎委員、坂本委員、小笠原委員、  
露木委員、大沼委員、野地議長  
執行者側 政策担当参事、企画政策課長、施設再編推進班長
- 傍聴議員 5 名  
一般傍聴者 2 名

---

## 5. 経 過

### 1. 基本構想・基本計画案について

#### (1) 予算議決後の町スケジュールの確認

副町長

今日黒石参事は病気のため欠席させていただく。私が黒石参事の代わりで参加させていただいた。今回の議会で 31 年度の一般会計予算から基本設計委託料が削除されたということで、私自身ショックで重く受け止め、大いに反省をしているところである。補正予算で通していただいた 30 年度予算に入っていた、基本構想・基本設計委託料の繰越を認めていただいたので、これから 4 月、5 月と大いに特別委員会の委員の皆様のご意見を重く受け止めて、修正を図っていきたいと思う。

本体の概算で根拠がきちりとしたお金ではないが、概算で出した庁舎の本体が 21 億 6 千万の減額を、可能な限り今後図っていきたいと考えている。委員の皆様のご意見を受け入れて、可能な限り財政負担が少なくなるよう考えている。最終的にはお金だが、規模・構造についてご意見をいただきたい。毎回必要に応じて町長なり、担当はもちろん出席し、質問・意見を受け止めて、修正に努めたいと考えている。

人事の内示をご覧になったと思うが、西岡課長が 4 月 1 日から総務課長に異動になる。この 2 か月間で基本構想・基本計画案を修正するに際して、実質担当として作成した。4 月以降にも元企画政策課長にも出席させていただけたらありがたいと思う。職名が変われば新しい企画政策課長が出席するところだが、必要に応じて質問があれば答えさせていただくことを今後認めていただけたらと思う。4 月 1 日以降は新体制で、修正内容等については本格的に意見をいただくということになる。今後これからの説明会にいたるまで特別委員会の方向性について話をいただけたらありがたいと思う。あるいは、それに関すること意外で質問がありましたらよろしく願う。

委員長 了解した。西岡企画政策課長の出席は計画の間なのか。しばらくなのか。

副町長 基本構想・基本計画案の修正作業を、今後行いたいと思う。修正する前の案を実質中心となって関わった西岡企画政策課長には、4月1日から職が変わるが、出席を許可させていただけたらありがたいと思う。「案」が取れるまでの間である。  
（「委員会にか」との声あり）  
この委員会にである。

委員長 副町長がおっしゃられたとおり、委員の皆さんはそれでよろしいか。

（「はい」との声あり）

露木 実際に来て下さるのはいいと思うが、総務課長として働き方改革の担当になるので、そちらも大事なのでずるずるといかないようにしていただきたい。この委員会に出ることと、「案」が取れば終わるということか。もう少しここまでと分かることがあれば、教えていただきたい。

副町長 もし、新しい企画政策課長がこの間に全て学習して答えられれば良いが、私の予想では、西岡課長と同等に答えられないのではと予想している。4月1日から総務課長となる西岡にも出席させていただきたいと思うが、あくまでも基本計画の「案」が取れるまでの5月中と考えている。それも求めに応じて、今回は来なくてもいいよとなったら、業務もあるので出席はしない。ただ、いないと回らないとなったときは、出席をさせていただき、その修正点を明確にしていきたいと考えている。

委員長 そのようにご了承願う。特別委員会の中身だが、昨日、特別委員会全員で打ち合わせを行った。検討委員会で求めることで少し話をしたところ、基本計画の案の修正をするのにどんな中身になっていくのかというところを、まずは特別委員会で明らかにしていこうという話になった。昨日担当課に知らせたが、修正案の中身について、私たちが気になっているところは、規模・構造・予算・場所で経緯を含めたことも、この場で最初に説明を求めたいということがある。説明会の内容はどうするのかなどの意見が出た。担当課から説明を伺った後に、委員からの質疑応答のやり取りを進めたいと思う。

企画政策課長 委員長の話があり、経緯を含めて話をさせていただく。平成29年度に役場庁舎整備手法調査ということで調査をした。現庁舎の耐震補強・並びに建て替え、今候補地になっているラディアン周辺、東大果樹園跡地をこの4つを候補として整備手法の調査をした。

前段としてこちらの現庁舎は、耐震補強をするとコンクリートの強度の問題もあり、耐震補強することで事務スペースの狭隘化がさらに進んでしまうことから、技術的に難しいということ結論として出した。現庁舎建て替えということで検討したが、仮設庁舎を作って、本庁舎を作るとなるとなかなか厳しいのではないかとということである。ラディアン周辺と東大果樹園跡地

を比較して安全性・事業性・利便性等を比較した結果ラディアン周辺が最善だと町として結論を出させていただいた上で、平成 29 年度の末にラディアン周辺への移転を町として発表させていただいたのが経緯である。それから平成 30 年度に入って、基本構想・基本計画作成に着手し始めた。その際に、6 月の移動町長室で、基本構想、町の基本的な考え方を示した。議会全員協議会でも示したが、その考えのもと基本計画の着手に入っている。基本計画については、2 月に案ということで説明会させていただいたが、11 月末に基本計画案とともにパブリックコメントを 12 月中に行った。その意見が多数来ており、今その整理をしているが、その後、町民検討会ということで一般公募、地域の方等入っていただきながら 3 回ほど開催し、ご意見をいただいた。今最終的な意見書ということで整理させていただいている。その後 2 月に町民説明会を 3 箇所開催した。こちらもたくさんの意見をいただき、議事録整理をさせていただいている。さまざまなご意見のもと、先日の議会の中で基本計画案の修正をさせていただくために、31 年度に繰越をさせていただき、計画案を修正させていただくということで、順次スケジュールは進んでいる。本予算特別委員会の時に出したスケジュールから、修正をしたスケジュールを皆様に配付したが、基本構想・基本計画案の修正期間、こちらのスケジュールでいくと 6 月くらいまでということで示した。最終的にこれが 6 月になるのか 7 月になるのか今最、5 月末から 6 月頭かけて開催していきたいと思っている。その後 6 月中ぐらいには基本構想・基本計画について決定をさせていただきたいと考えている。8 月以降のスケジュールについては、予算特別委員会中で説明させていただいたスケジュールの通りである。修正したのは、基本計画の決定をする前に説明会を開催するというで修正した内容である。修正の中身だが、さきほど委員長の話にもあったように、建設場所ということでラディアン周辺ということは、平成 29 年度にすでに候補とさせていただいた内容になり、ラディアン周辺のどこにするかについては、今は町営第一駐車場ということで示したが、これについて実質含めご意見もあると思うので、そこをもう一度再検証させていただきたいと思っている。必要規模だが、今回行政機能を集約化して 4,800 平米算出した。これについてももう一度検証していきたい。行政機能を集約化しないという手法もあると思うので、どういう提案ができるかを含めて、再検証をしていきたいと思っている。それと構造だが、免震構造、制震構造、耐震構造なのか、もう一度比較した上で、あとは造りで、軽量鉄骨という造りにするのか重量鉄骨なのか、いわゆる鉄骨造なのか、鉄筋コンクリート造いわゆる RC という建物にするのか再検証させていただきたいと思っている。その検証の経過も含めて示すことができればと思っている。それが決まると、副町長からもあくまでも概算という話だったが、概算の事業費を出していきたい。構造が決まらないとなかなか概算で事業費が出せないのそこらへんを出していきたい。概算事業費が決まればそれに伴い、財源のシュミレーションができ、財源の見通しが示せるのかと、大きくはその 4 点が今回の見直し、修正に関して再検討をしていきたい内容である。

大沼 今、説明の中で構造の話で重量鉄骨、RC を鉄骨造と言われたか。

委員長 それぞれが検証の余地があるという話だった。概算事業費などは、構造の

ところが主に変わってくればということか。今示されている財政見通しの計画の他の部分では変わることなく、構造が変化すれば、全体的に縮小という方向で考えられるのか。

企画政策課長

再検証をさせていただきたい。住民説明会等をふまえていくと、縮小という傾向になっていくのかと今は想像している。これは、今は検証してみないと分からないので、町民意見、議会意見をふまえると、縮小と言うか、今は免震構造の鉄筋コンクリート造という一番強固で安心安全を重視したものになっているが、例えば免震構造の重量鉄骨になれば、当然金額的には安くなると想像するし、先ほどの規模4,800平米ということだが、行政機能を集約化するという話をさせていただいたが、たとえばだが保健センター機能は今の保健センターのままで良いという考えであれば、規模も減ってきて事業費が低減され変わってくると想像している。

委員長

これらのことを検証していくスケジュールというか、今やっていることもあるでしょうし、何か6月までの間の動きを時間軸で示すことは可能か。

副町長

企画政策課長が言う前にひとつ、教育関係の情報だが、教育委員会では、もともと計画として30年度末の3月学校再配置の事務局案を出して、教育委員に紛議をはかり、素案を確定する運びだったが、委員の都合で勉強会が進まず、遅くとも4月の教育委員会では、今後町民説明会、保護者説明会に今後の学校再配置をどうするかということを確認したいと情報があり、4月の教育委員会以降は、町民説明会前だが情報としてこのように保護者に提起したいということが言えるかと思う。

企画政策課長

4月以降のスケジュール、説明会までのスケジュールだが、今の段階ではまだ具体的にいつまでに何をということは決まっていないのが現状である。5月から6月末にかけて説明会をやっていきたい。全てのことを早急に検討する必要があると考えている。

委員長

説明会についてどういう形でやるのか、こんなことをやりたいということはまだなのか。議論されていることはあるのか。

企画政策課長

説明会の場所、日程を含めてまだ最終的に決まっていない。ただ、予算特別委員会等を含めてなるべく多くの方が参加できるような日程で検討する必要があるのかと思っている。

委員長

表向きでは言っていないが、このスケジュールをいただいたときに何か説明会ができないか、やれて1回程度なのかという話もあったが、特にそういうことにはこだわらないのか。

企画政策課長

回数を含めて現状としては決めきれていない。陳情等で町民の方からも話があったように、前回土日3回集中して行ったが、土日だけだと出られない人もいる話があった。たとえば平日を入れるとか、そういった工夫を指定校とは思うが、はたして全ての日程がとれて整理ができるのかというところで

まだ確定していないというのが現状である。

委員長 委員の皆様からの質疑に入るがよろしいか。質疑のある方は挙手願う。

議長 先ほど課長からパブリックコメント、説明会の質疑意見の内容は整理中だという話だった。町民検討委員会を3回行っている、町民の代表の委員会だが、委員会が案に対してどのような見解なのか教えていただきたい。それについていつぐらいに示せるのかお伺いしたい。

企画政策課長 パブリックコメントの町の考え方については、今年度中には示せると思う。説明会の議事録についても同様に今年度中に示すことを考えている。町民検討会の最終的な意見書を出していただこうと検討しているが、今は最終的な意見書の案を各委員に確認をしていただいている。それからを修正をして出てくると思うので、今年度中には間に合わずに4月当初に入ってしまうかと想定している。

議長 ちょっと遅くなるという検討委員会のまとめ（案）ということで、今ここで公表できるか分からないが、差し支えなければ、答申が最終的な意見書になるのか分からないが、どのようにまとめて進めているのか。検討会の中では「場所を変えなさい」、「規模を縮小しなさい」、「構造を変えなさい」、「そもそも作るな」とか、大枠でよいが、どの方向性の議論で意見書が出てくるのか。4月いつか分からないのでそれをお聞かせいただける範疇でお願いしたい。

企画政策課長 町民検討会では、基本構想・基本計画に沿った形で各項目に対して、町の考え方に対しての意見、町の考えていない部分についても意見をいただいている。「そもそも建てるな」という意見はあまり無かったのかなと思っているが、場所に対して、ハザードマップ上、洪水浸水地域になっているが大丈夫なのかという意見があり、町としてはこう考えているというやりとりをさせていただいた。ハザードマップ上浸水区域なので、そういったところを注意するとか、構造の話を見せていただくと、免震構造が果たして必要なのかという意見があるので、構造についてはしっかり検証した上で検討するという意見とか。検討会から「耐震にするべき、こうするべき」とかは実はあまり意見書としてないのが現状である。これについてもう一度考える必要があるのでは、そういった意見の集約の仕方をさせていただいている。

議長 分かった。説明会等、検討会もそうだが次に修正案が出てくる。要望に近くなるが、なぜ、その案になった、そういう提案が出されたのかというのが説明不足の部分があって、町民の方が不満に思ったり、理解できない部分もあったように思う。なぜこの場所に、この規模で、この構造でデータに伴い過去にまたさかのぼって説明ということで、しっかり丁寧に説明していただきたいと思うがそれに対してはどのようなお考えか。

企画政策課長 今回基本計画案が出した中で、たとえば、様々な検討がなされた上で、免震構造にすると示した。検討の部分が町民の方にしっかりと見えていないと

ということもあったので今回の修正に関しては、構造の話をする、免震、制震、耐震、軽量鉄骨、重量鉄骨、鉄筋コンクリート造、いわゆる3種類と3種類を掛け算すれば9種類の答えが出てくるがそういったもののメリットデメリットも含めて示した上で、今回こういう考え方なので、これを町として選定したと説明の仕方をしていくべきかと思う。その辺が分かりやすい、そういうことを資料として出せば分かりやすい資料になるのかとそういったことを念頭に分かりやすい説明をしていきたいと思っている。

委員長

防水機能、お金のこととか3月議会でやり取りしたが、皆さんこれ以上無いということか。防災機能で気になる点とか、お金がいくらならどうという話か。

坂本

今、話を聞いていて、行政のほうが出ているそのシナリオというのは、数字は変わっているが順番をふんでいくのが前回と同じ手法みたいに感じる。ところが、説明会でもそうだし、われわれの願いは先に数字である。予算はどれくらいかかるのか。それを財政的に最初に将来に向かって一番安心して数字はどこにあるのか。大きなこれまでのテーマで説明会でもたくさんの意見が出た。孫の代まで返済しなければいけないんじゃないかとか、心配しているわけである。今の説明のシナリオでいくと、数字がいくらか分からない。極端に言えば、20億で全て終わるとか、完成するとか、18億で庁舎ができて上がるとか、その数字は財政から見てこういうシナリオでやるから皆さん安心してよいと。今の手法が逆さまなような気がしてならない。順番に修正しながら進み、まだ答えは出ない。設計が本腰に基本設計になって、やっと数字が出るやり方だと思う。そうではなく、最初から数字ありきでこの予算の中で役場を造ると、逆さまの議論をしていったほうがそれはそれなりに、今までの小さな予算になれば鉄骨もどういうふうにしなければならぬ、建屋、内装はこうだとか、どんどんなっていくはずである。設計屋もこういうものを作ってくれと言えればそれなりのものを考える。そういう方が町民やわれわれの安心感を得られると思うがいかがか。

副町長

今、坂本議員がおっしゃる意味はよく理解できるが、町民の安心感と言えれば30年度末に確定したかった基本構想・基本計画案に盛り込んでいる財政計画というのは、将来に町民に過度の負担を残す財政計画とは考えていない。ただ、説明の仕方が臨時財政対策債についても、事業債にしても20年でお金を返していく場合、絶対計画というか学校再配置を含めて跡地の活用を説明しきれず、現庁舎、町民センター管理運営費だけでも年間4千万円かかっている。10年すれば4億だとか、そういった全体的な説明をしてこなかったことを反省しているが、すでに出した案が、町民に将来不安を残すような金額と受け止められているということは反省している。もうひとつの案は、西岡課長に続けてもらうが。たとえば、お金を区切って15億円の予算内でものを造る、プレハブで規模はこのくらいで、この場所にといい決め方は積み上げていかないとこういう中身を作りたいんだと。ワンストップサービスというコンセプト、安心安全のコンセプトだとか、そういったことから積み上げていって行くもので15億円、20億円以内で作ろうというやり方は難しいと思うが、課長のほうで続けてもらえるか。

企画政策課長

たとえば財政的に安心できるかをどこに捕らえるかということだと思う。現状 27 億の事業費全体を出ささせていただき、地方債の残高等を含めて数字を出した。返済についてもどのくらいになるか全体のシミュレーションを含めて出ささせていただいて、現状では返していけないのではないかと想定はしているが。町民の方にとっては不安だと意見、庁舎にそこまでお金をかける必要はないのではという意見もいただいている。そういったことをふまえて、規模を縮小していく、金額の事業費の縮小をしていくということが今回は一番なのかと。たとえば上限 20 億と決めてスタートしていくという手法としてはあると思うが、今回はそのようなやり方ではなく、20 億に収めなければならないので、これはやめよう、あれはやめようと、そういうものではないのかなと思っている。手法に関しては、今の手法で最終的に積み上げていくことで考えている。

坂本

そういうふうやっていく方針ならそれで結構だが、片方で町民が安心する手法、お金が 26 億、27 億かかりそうだと。素人は最後に足すと 30 億になるという不安がある。それでも返せるならよい。十分返せるという根拠をこの間の説明では薄い。それを細かく跡地はどうする、売ります、手持ちの今の町の使っていない土地も売りますよ、売ったらこういうふうになると。返済源になる。いろいろな財政計画をみんなが分かるように立てれば、今の手法でも安心感がある。それをやるなら、行政の方針なので尊重してそれはいい。それをちゃんと説明しきれ、こういうふうになっていくので大丈夫だと明確に出さないともだまだこの間と同じ雰囲気ができる。そうではないのだから。もう一つ役場庁舎のことで議論しているが、特別委員会だからそうだが、これから先行き役場の仕事は何が残っているのか、ラディアンへの修復だとか公共施設の統廃合に伴う経費とかそれだけではなく、地震対策、防災対策としてラディアンに移るという方針だからいいが、それだけでこの町の町民は救われるのかということテーマにした場合、海に津波が来たらどうなのかと、梅沢海岸の防潮堤作らなければいけないのではとか、色々な事業的なものが考え付くことを全部洗って、これから何年間の間やっていかなければいけいよというものをを出して、財政計画がこういうふうになっていくというものを皆さんに見せないで役場だけ造って終わりかという雰囲気を感じられるから、役場の事業としての予想される 4 年で終わらないかもしれない、もっとかかるかもしれない。先行き返済している 20 年なら 20 年の間までやらなきゃいけないようになる。でも大丈夫だということを説明しきれないと何か不安がまだ残ると思う。漠然と考えるのは 27 億、26 億で突き進んでいく自信が行政にあるならそれは結構である。だが、果たしてその片方に、他のことも、同じくらいの事業をしていかなければならないということもあるがそれでも大丈夫かと。物事をワイドに考えて。役場庁舎なんてたいしたことはない。ひとつの話である。町を守り、町民を守るということはもっといろんなことが起きる。そういうことも付け加えた説明をしていただければ今の手法でみんな理解してもらえれば十分大丈夫である。役場だけのことで説明していくと、町の人はいろんなことに出くわしている、そこらへんが心配だと思う。私の意見である。

委員長

私から今のことについて全体像のところでは話をすると学校のことでつまずきがちである。こういう計画だというものの役場庁舎の域をなかなか抜けないと坂本議員のおっしゃったことに対してどうなのか。検討して説明していける余地があるのか。

副町長

かみ合った答えにならないかもしれないが、何回も説明が繰り返されているとおり、学校の耐震化を先行し、子どもが学習している場所で阪神大震災が起これ、国のお金をもらうにあたり、まずは学校を優先し、5校が終わった。私が教育長になった平成26年のころすでに耐震の診断がなされていたと記憶している。当時、安藤総務部長であった。思いのほか震度6の強さで崩壊の恐れありで耐震工事を急がなければならない、それを筋交いを入れようと見積もったら思いのほかお金はかかり、決定的なのは町の特殊性によりスペースがなくなってしまう。町民センターに引っ越さなければならないが、町民センターも耐震していない。どこかプレハブでもなんでも良いので引っ越さなければならない。プレハブは以外にお金がかかる。引越して、また建てるとなると二重のお金がかかる。新しい建物を建てていこうと、そういう検討をするうちに、どうせ50年に1回の事業なら安心安全な庁舎がよいと概算したら26億という数字が出てきて、皆さんに批判を浴びているところである。業務継続計画さえできてればいいという議員さんもおっしゃったが、コンピュータさえしっかりソフトが残っていれば、継続できるというものではなく、命がすっ飛んだら、継続もできない。公務員だけなんで命が助からなくていいんだという意見もあるが、町民でもあるので、町民の方も窓口に来ているし、なにしろ命優先でこの場所から別の場所に移ろうと決めて、その場所が空いているのはラディアンということである。町民に贅沢だと映り、財政難、将来の負担感になるなら、それを重く受け止めて、坂本議員がおっしゃったように予算を大胆に削っていくしかないという基本方針で修正を今後図っていくという説明である。確かに地方債の返済計画が出ているが、まだ役所の修正で見積もりを取っておらず、果たして10年後に役場跡地、二宮小学校跡地を総合的に買い取ってくれる業者がいるのだろうか。不動産は持っているが、海岸の国立小児病院跡地も10年後にはこのぐらいの価値があって買ってもらえたらこのぐらいのお金があると。学校の長寿命計画で新設はせず、今ある校舎を大規模に改修しながら一箇所に移っていく。なぜ役場だけいいものを造るのかと、いいものではなくて、耐震がないのでそちらに移っていくというのが全ての始まりである。説明が不十分なのは学校と公共施設の再配置で大きなウェイトを占める学校の結論がまだ説明会当時では出ていないとのことである。公共施設の優位的な学校の使い方を今後どうするのか、どこが空く予定なのか、試算はどのぐらいあるのか、あらゆるかたちで町民の皆様の将来の不安を取り除く努力をしていかなければならない。具体的に担当となると根拠のあるデータを示すとすると、少し大変かと思うが、課長に続けて説明をお願いします

羽根

これからの構想計画案の修正の流れの確認だが、さきほど構造だけでも9種類あるとのことだった。この場合だといくらになって、その中でこれに決めたという形になると思うが、いろいろな案を特別委員会に示す予定なのか。例えば、構造だけでいうといくつかの案を町が入手されて、これだと案が修



正された上で出てくるのか考えを教えてください。

企画政策課長

例えば構造の話だが、先ほどいったように免震、制震、耐震の三種類に対して軽量鉄骨造と、いわゆるプレハブというものは軽量鉄骨造で、重量鉄骨造は、いわゆる鉄骨造、鉄筋コンクリート造という3種類があり、耐震の軽量鉄骨だったらどうか、耐震の重量鉄骨だったらどうか、耐震の鉄筋コンクリートだったらどうかというのを金額で出すというより、これを100%にした場合、工期でいえば120%かかる、事業費でいえば110%だとか、そんな形で出しながら示せば一番良いかと。途中経過の中で、一般論としてこうだとこれが100だとすると、これだといくつでと示しながら次のステップとして町としては最終的にこういう形を考えていると示すのかと思っている。特別委員会の中では経過を含めて報告ができればと思っている。

大沼

さきほど坂本委員の追加の部分であるが、財政の見通しであるが、今まで示してもらったのが近年10年で、今後の他の公共施設の更新を視野に入れての26億の返済の計画だったのかと曖昧だが記憶している。その中で総合管理計画だが、平成72年度までの42年間、143億円の投資可能額の試算が出ている。その試算を出しているながら、長期的な計画を明らかにしていかないことが、町民が財政に対して不安だと思う原因である。たとえば、こういった資料が作成されているわけだが、これを元にした財政計画を出すべきではないかと思う。

2点目だが、今回建設予定の予算の出し方だが、近隣の庁舎の建設費を元に当初は平米30万程度と見込んでいたが、その後平米45万を単純にそれを使ったという説明であるが、この建物の予算額を算出する方法は他に無いのか。

3点目だが、免耐性、重量、軽量、鉄筋コンクリート造等6つの項目があるが、この構造だったら安全性がどのくらい数値として出てくるのか、庁舎を耐震不足とした部分は威IS値だったのか、数値が不足していたかと思う。現在のこの構造で建てた場合は、おおむねこの程度の数値が保障されるという数字で見える安全性を提示ができないものか。

4点目だが、以前坂本委員から話があったが、果樹公園についてだが、県にお願いしていくのか、町で取得ができるのなら、今回あそこに庁舎をもっていくとした場合、駐車場のスペースや有効なエリアの全体の活用方法として望まれるのかと、そこを今後どう考えていくのか。

最後に、今心配なのは、あの周辺の交通状況のことである。現在でも、菜の花の期間や駐車場利用者が多い時だと、かなり交通渋滞がある。富士見が丘1丁目の信号のあたりまで車がつながっていることがたびたびある。今後、ラディアンでイベントがあったり、菜の花期間に入ったり、年度末役場に用事があり、人が多く来られるとき、あの周辺の交通渋滞がかなり激しくなるのではないかと、私も奥に住んでいるので気になる。今後その対策は考えているのか。この5点をお願いします。

企画政策課長

財政の見通しの部分だが、全体の事業費を含めて修正をさせていただくということで検討させていただく。そこに合わせた財政シミュレーションということで、今出しているよりも詳細に出せるものは出していきたいと考えているところである。先ほど大沼委員に言われた72年までの詳細は現実的で

はないかと思うので、どこまでどのくらい出せるのかを含めてそこは検証する部分なのか、概算事業費の算出方法だが、正直に言えば現実的には企業が決まらなないと積み上げられないものになってくると思う。コンサルとも調整しているが、鉄骨造だったら一般的にはこれくらいだと、鉄筋コンクリート造であればこれくらいというのは分かるが、それに入ってくるものによって単価が違うし、金額が変わってくるので非常に難しい。出し方については、コンサルにも指示しているが、今の近隣市町の庁舎の平均という出し方ではないという手法を考えているので、ここも検証させていただく部分である。

安全性に関しての数値だが、基本構想・基本計画案の7ページにIS値がいくつか載っている。1階、2階の部分のIS値が低くて、震度6から7の地震で倒壊、崩壊する危険性がある。表の下に、さらにということで官庁施設の総合耐震計画基準が示されており、一般的にいうと0.9が重要な施設であるという庁舎、構造分類1類ということでIS値として0.9以上の耐震性を求められているというのが現状である。0.9とか、一般的な0.6といわれるものが、どういうものかという震度6、震度7が来ても倒れないのが、耐震性のあるものである。それが基本的に確保できてればよい。ただ基準でいうと庁舎は特に重要な施設として位置づけられているので0.9のIS値がひとつの目標だと思っている。

果樹公園だが、県に1回話に行ってきたが、県としては、売却としては検討の余地があるという見解である。これが払い下げではなく売却であるので、町としては現状果樹公園の場所を使わなくてもできると想定している。今現在は果樹公園の購入は考えていないのが今の現状である。交通状況だが、なかなか想定できない部分もあるが、菜の花の時期に町営第一駐車場がいっぱいになり、交通渋滞が起こっているということは想定しているが、庁舎ができることにより、交通渋滞が起こることは私の中では想定はあまりしていない。今の現庁舎でも吾妻山の時期に多少ある渋滞が程度で庁舎に人が集まって渋滞が起こることがあまりないと思っている。県道と富士見が丘から出てくるところの交差点で、右折がしにくい状況があったり、様々な交通環境としての状況があるので、道路の方とも調整しながら必要に応じて改善を図っていく必要があるかと思っている。役場庁舎がラディアン周辺に移転したからといって、交通大渋滞が起こるのは現状として想定していない。

大沼

3番目のところのIS値のことだが、0.9以上を庁舎に対して目標にしたり、求めていくという話だが、それが今3種類示されている中でこの構造だったらどの程度のIS値となるのか、現庁舎の中の基本計画案の中でも3階の部分は1.34とか1.32という数値が出ているわけだが、現状の庁舎であってもそれだけの強度のある3階になっているので、新しく建てたとしたら、重量鉄骨、軽量鉄骨、もしくはRCの3種類だったら、どれがどの程度強度が得られるのか、免震、制震、耐震が入ったことにより何割程度アップするのか、何かしら数値に示せるのかと。これができ上がって、単体のものではなくて一般的に建築技術的な流れの中でこの構造ならこういうものが出ると、数値は初めて作るものではないので、現代の建築技術の中であれば表現できると思う。それがはっきりすれば、構造を選択する中で、執行者が言うところの安全・安心が目で見られて、町民の方も納得がいくのではないかと思う。そういうところも数値化を進めていけないのかと、今のコンサルで足りないのでは

あれば他の方法をもって調査する調査できないのかと。5番目の庁舎では渋滞しないという話だが、現実的に10年ぐらい菜の花の臨時駐車場として公表されてきたが、今年の菜の花祭りの間も、17万人程度の観光客が来ているという発表しているのだから、その建設中、もしくは建設が終わった後にその方が来ないというわけでもないのだから、今までと同じところに止めようとするのかと。止められる分の駐車場が減るので、台数的に厳しくなるのかと心配されるわけである。そのところは考えていないのか。

企画政策課長

構造の部分で、IS値の数値化だが、その数値化がいいのかがあるにしても、どれくらい安全性が保たれているのか、さきほど言った9種類の中でこれだとこれくらいと示せるのかと思う。安全性でこれだと1とした場合、1.1になるのか、1.2になるのか、1.5になるのか、ということを示せればと思う。先ほどの構造での比較、事業費だけでなく安全性の部分、工期の部分で比較できればと思う。駐車場の関係だが、菜の花ウォッチングで町営第一駐車場を利用していただいている。あそこに庁舎をもっていくことにより、菜の花ウォッチングや工事中を含めて駐車場機能がどこかしらに必要になってくる。そのへんは担当課を含めて検討していきたいと思っている。実際庁舎が新しくあちらに移転した時には、ここが部分的には空くので臨時的には駐車場ができるのかと思うが、今後跡地利用も含めて検討していかなければならないので菜の花ウォッチングだけに限らず吾妻山に見える駐車場ということで町として考えていかなければいけないと思っている。

大沼

要望として、今の道路事情のことを事前にしっかりと検証検討されて、その上で進めていただきたいと思う。この計画を進めていくと決まったら、交通量の調査とか時節柄の交通量もある程度考えなければいけない。それに伴った道路の整備というか、そういうことも部分も計画野中に盛り込み、庁舎ができてから、交通渋滞が発生したから、後付けで何かをするということではなくて、もっとしっかりとした、暮らしやすいというか、その部分を保った上で庁舎の建設が進んでいくというような同時進行で検討していただきたい。

松崎

さきほど副町長から学校の再配置の話があって4月に素案が確定するというので、5月の終わりに予定されている住民説明の時には町民の皆さんが、十分理解されたうえで参加されると思う。前回の住民説明会もそうだったが、住民の方はあらゆる可能性を考えながら参加してくるわけで、当然、前回も新庁舎はいらないという意見がたくさんあった。今回もそうだと思うが、学校再配置が出ると、余った学校を使おうという話が出てくると思う。前回の説明会のときに町長が「ご理解下さい、ご理解下さい」と言っていたことがとても私は印象に残っていて、住民の方は自分たちの意見を聴くつもりがないのに何で呼ぶんだと思う。学校の再配置で空いている学校がたくさんあるとなるとそこを使ったらどうかという意見もたくさん出ると思うが、今話を伺うと、ラディアン周辺というのが町の立場として決まっていると、を来た方が意見を言っても何も変わらないなら、そもそも呼ぶなとお怒りになる方も多いかと思うが、そのへんはどういう対応していくのかお聞かせいただきたい。

副町長

素案が出た後に、特別委員会で詳しく説明したいと思うが、たとえば、二宮小学校は駅が近くて利便性が高いが、いつ空くのかといたら、今後の人口を動態を見たときに少なくとも12年から13年はかかる。今はピークだが、今の出生数を0歳児から見ていくと、転入者は見込まないで、今いる0歳児で見ていくとある程度計算ができる。2030年度以降、二宮小学校と二宮中学校がひとつになる。より駅に近い二宮小が二宮中に移り、9年間の小中一貫教育校が実現できる。まだ二宮小は素案が出ていないが、二宮小が移転できるのはまだ12、13年待たなくてはならない。地震が12、13年来ない保障があれば空くのを待って庁舎を移転させればよいということになるが、地震は現在の科学では予測できない。震度6級がきたらつぶれてしまう。それで他の学校はどこかという、一色小学校が単級だと、それならば一色小学校に引っ越せばよいという意見もあるが、利便性から考えて、現在人が住んでいる動きを考えると一色小に役場を移転するというのは立地的に是としない。あるいは二宮西中が空いた場合、役場は二宮西中に動けば良いとなるが、小田原との境で、町の中心から遠い。土地が軟弱で、山崩れの可能性や浸水の可能性がある。可能性で言えば、地震の可能性と同じくらいあるかもしれないが、今の技術でいろんな工夫をして、ラディアンもあり法務局もあるし、県に働きかけをして、そこに役所ができればまた過疎化するかもしれないが、一番最適な土地は、町の町有地ではラディアン北側において他には無い。二宮小学校が仮にすぐ動けたとしたら、少なくとも12、13年を待たないといけないうし、一色、山小、西中の移転では町の中心地から離れているという判断を町としてはいろんなケースをつぶした上で、学校のこれからの移転を考えている。現在ラディアン北側のどこの部分かこれから西岡課長が言ったように検証するが、今の駐車場のあたりは町としては動かさない。町民説明会のときもそれで説明したいと現在のところ考えている。

露木

大きく2つ聞くが、説明会のやり方だが、説明会、説明会とおっしゃっているのが町がいて、町民がいて対面の方法かというイメージをもつ。皆さん、いろいろな思いを持って来られるので、私は多くの方に話してもらうのが良いと思う。説明会の空気がある一定方向に向けば、逆の方向に考えを持っている方は発言しづらいし、そういう意味でいうと対面での説明会というのをあまり賛成したくないところがあって話し合いというか、意見交換会というか、そういうやり方のほうが私は良いと思っている。説明会とおっしゃっている中では場所、日程、回数はおっしゃったが、やり方についてどう思っているのかが1点である。財政面で心配している方が多いのは、間違いは無いが、同時に町づくりとして考えてほしいという方もかなりいた。それに対して役場は緊急性があるから、外していき、急ぎたいということだが、そこで終わってしまうと納得できず、庁舎を抜いたときに町づくり全体はどうなるのかというビジョンを示していただきたい。たとえば町立体育館も学校施設に入れていくということが公共施設再配置の計画に載っており、町民センターや武道館もそのようなことが載っている。その3つが別々の学校に入ることがないとまず予想する。ひとつの学校が空けば、そこに集約していくというイメージをもつが、それを明確におっしゃってもらえない。たとえば、どこどこ学校が空いたと、そこには町民センター、どこどこ学校が空いた、

そこには武道館、そんなふうにはならないと思っていて、そのへんを描いていただかないと、またばらばらなイメージをもつ。庁舎を除いた時にも町づくり全体を見せていただいたほうがよい。それをやっていただけないかということと、保健センターは庁舎と一緒に再配置として考えていくということがあると思う。どうしてもここであぶれるのは保育園で、10年では、中期では公共施設と他の施設との複合化や立替を行うと書いてあるが、保健センターは入っているのに保育園が入っていない。町の方針が変わったのなら分かるが、変わってなくて百合ヶ丘保育園と言うか、町立保育園を持っていくのであれば、当然入れていかないと、後で建てようとしたらまた何億もかかる。保育園だけ妙に浮いている気がするがその点についてはいかがか。

企画政策課長

まず説明会のやり方だが、現状としては前回と同様のイメージを持っている。あのやり方でなかなか全てもうまくいくのかということだが、私は、なかなか厳しかったと感じている。どうやったらうまくこちら側の説明をしっかりとできて、皆さんとの前向きな議論ができるのかということと今の時点では、私は思いついていないのが現状である。有意義な説明会にしていきたいので、そこは検討の余地があるが、今の時点で、こうやりたい、こうしたいというのが思いついていないのが現状である。説明会の中で町づくり全体の話がされていた方が非常に多く、話をいただいた。副町長から学校再配置の話をしたが、4月に学校再配置の町としての計画で案が出せるとなれば、この説明会に際してはそこも含めてまちづくり全体の話ができると思う。庁舎の話の前段として、学校再配置でこういうふうになる、ここの学校が空くと、今の実施計画の中では、町民センター、武道館、町立体育館だとか機能移転がその学校に描かれている。そういった説明をしながら、ただし、これがすぐにスタートするものでなく、庁舎に関しては安全性・必要性を含めて早急に町としてはスピード感をもってやっていきたいという中で必要性を示し、ご理解をいただくという流れで説明をしていくのかなと感じている。保育園だが、現状として今は百合ヶ丘の中で継続していくと考えている。庁舎の中での複合化は考えていない。ただ、学校再配置との絡みも出てくるのかなと、空いている学校の中、保育園機能を移していくというのも考え方のひとつであると思うし、民間の状況や定員の見直し等を含めて、ソフトの部分でまずは10年間は保育園に関しては継続していくのかと。その間にどういうふうにしていくのか検討していく。新たに保育園を建てるというイメージではなく、他の公共施設との複合化ということを考えている。庁舎の中での保育園は考えていないのが現状である。

露木

発言したものが全部網羅しているとは思わなくて、再配置計画で短期・中期でやめるものはいいが、その後検討していく、複合化するものに関しては漏れがないようにどうするのか。学校なのか、庁舎なのか見える様にしていただいたほうがよいと思う。町民との説明会のような時間を持ったときに、この施設はここというのを口頭で言うより、画面で一枚の中で町の簡単な地図のように、山があつて、ここに花の丘公園があつて、ここに中学校があつて、これとこれがこうなるということが一目で分かるようなイメージできる資料が一枚あると良い。これを要望する。

企画政策課長

先ほど言ったように、学校再配置について町の案だが、4月に出ることからするとそこに何と何を入れていきたいのは公共施設再配置の実施計画の短期の中でもう既に示しているものについては、ある程度話せるし、資料も出せるし、視覚的に目に見えるものを用意したい。保育園に関しては中期なので非常に難しい部分があり、中期と呼んでいるものが10年後以上から40年後という長いスパンの話になるので中期の部分をどこにどう入れていくかは今の段階で話すと視覚的に矢印でいうと破線とうか点線のような感じで示すことができるのかもしれないが、今の時点でなかなかそこまで全体を見通すのは非常に難しい。少なからず短期で示しているものについては前段の説明としてできるようにしたいなと思っている。

副町長

露木議員の質問の補足だが、学校再配置の素案は4月の教育委員会で確定の見込みだが、保護者や地域住民の説明会は夏休みあたりになるので、庁舎の説明会のときには、素案としてこのようにしたいという、住民、保護者の了解をえていない時期の説明会なので、そこらへんは誤解の無いよう、おそらく教育委員会は提案すると思う。露木議員が言われたこの町の将来像、この町のダウンサイジング化しなければいけない老朽化の公共施設が、これからたくさんなくなっていくと中長期計画を一つの絵にして町民の方に文章を読むのではなく、絵で分かるような前段として庁舎の移転の前に将来像として共有化するという事は非常に大切なことであると思った。

渡辺

説明会という言葉があるが、説明会がベストなのか、他に考えを示すやり方もあるのではないかと思う。その日が1点あるだけでなく、これまでの広がりもある。地区があったり、今使っていらっしゃる団体がある。役場はあまり団体は使わないけど、ラディアンと一緒に一体に考えるなら広がりもあるし、説明会はひとつの大切な節目だが、それ以外に考えをまとめていく方法を考えているのか。財政の問題でいろいろ意見が出たが、前も予算委員会で出たが、現状のシナリオがあって、ここの庁舎そのものを毎年たくさんのお金が出ていくということで、けっして15億円、20億円というのが出ていくがお金ではない。それにより、セーブできる部分、ネット評価も方向性ではないかと思う。それについて修理が想定できれば前もって直すかそういう点でも打ち出されてはどうかと思う。説明会の印象があったが、例えば建物の耐震性の問題が出たが、むしろもうひとつあるのは、防災を強調されている中で防災拠点をやると、葛川や田代川が溢れたときに、肝心の防災拠点に行けないし、防災拠点から出られないということを心配されており、私もそういう自体が起きたらどうなるのかと。葛川も県の管轄だと言ってしまえばそうだが、実際にそういうことが起きたら、せっかく庁舎をひとつの防災の拠点として位置づけても、全然機能しないと、そういう点はどのように示されるのか。

企画政策課長

さきほど説明会について、今、私の中でどういう手法でどうやっていくのか今思いついていない部分があるので、そのへんは検討する余地があるかと思う。どうするのがよいのかというのが今の時点では答えがないのが現状である。維持管理費を含めた財政シミュレーションということなのかと思うが、非常に難しく、機能が決まらなると維持管理費がどうなっていくのかコスト

が出てこない。ここの庁舎を維持管理していくのは実績として出せるので、そういったことを示しながら、新庁舎になればどのくらいになる、そこのどのくらいになるかが非常に出しにくいところではあるが、そんなことも考えるべきことかなと感じている。防災の拠点としてどう考えていくのかということだが、多くは、大雨、洪水浸水していくと言うことであれば、大雨、台風は想定され、気象情報なので前提としてある程度分かるので、地震と違って突然起きるわけではないので、そういった意味では事前に避難していただく。例えば庁舎が防災拠点という話をさせていただいたが、防災本部としてきちんとした形で庁舎をと、防災拠点として話をさせていただいた。そういった意味で、庁舎としての防災拠点は確立していかなければならない。町民の方の避難場所という意味では、例えば昨年大雨では、各小学校の体育館を避難場所として開けたり、さらに大きな状況が分かっていたら各地域の防災拠点を開けたりとか防災のほうでも考えるのかと。地震と大雨ではスタンス違うので、地震対策という意味で、今回防災拠点として確立していくところが一番大きい。葛川の整備に関しては、ずっと話してきているが、県に働きかけをして早期に実現するようにお願いをしていくのが一番かと思う。

渡辺

今日防災拠点について答えを求めるとは思っていないで、みんなが思っている防災拠点とは違うと思う。町長は、防災拠点と強調されるので、防災の指令場みたいな部分は今消防署の方に機械があって、そういう機能は向こうに行けるということになっている。そうでない防災拠点というのはいったい何なのだろうとか。私たちの頭の中には、ハザードマップの水が溢れると、あれも前提があるので90ミリの雨が1時間降るという前提があれば、当たり前だと思うのか、そういう前提は世の中ではなかなかない。通常起こりうる前提の時どうなるかとか、中で私も含めて知りたいのは、アップアップで新しい庁舎が孤立してしまう、そういうことにならないのはここまでだったらならないという前提が数字、状況が説明されていけば、ある程度納得や理解が得られる。そういうところを考えていただきたい。さきほど交通量の話も出たが、3年か4年前に交通量調査もしていると思うが、北口の一方通行を設定したときのデータもあり、新しくデータを調査しないまでもそういうデータを駆使していけば、ある程度今課長もおっしゃったところもこういう交通量だからと具体的に語られないと、「大丈夫だと思います」では納得しない。その辺は現状のデータを駆使されたらどうかと思う。せっかくあるものがあるので。説明会がベストかどうか、これは方法になるが、ぜひその時に来る方の思惑と町としてこうしたいとシナリオがずれるとエネルギーの無駄遣いではないと思うが、そのことで次のステップが遅れてしまうとか、想像できないわけではないので、そこは他の部署とも相談してもらったらどうかと思うがいかがか。

副町長

おっしゃるとおりだと思う。データを駆使して、説明会は説明会だが対話的なやりとりというか、たとえば、学校の教室で言えば一方的に説明をする教師に対して子どもは静かにしているが、逆に言えば何も入っていない。やりとりもはつきり自信をもってデータを駆使して、理解して下さいというお願いではなく、町としての切実な思いを訴えるという説明会になるよう今後

想定問答集を作成して技術だけではなくて、思いを自信をもって伝えるようにしたいと思う。防災拠点といえば、地震のときに防災拠点になりえても風水害のときに、低い土地なので無理がある。事実を歪曲せずに、データを示しながら、町民の方が不安に思わないように、夢を持ってもらえるよう総合的な町のあり方みたいなものを前提にいっぱい説明しながら、企画政策課長だけに任せるのではなく、各課横断的に説明会に出ていただき、町の思いを伝えていきたいように思えた。今日皆様に言われたことは整理して説明会に活かしていきたいと思う。参加してよかった。

渡辺

いろいろ手法はあると思うので、たとえば、「絶対俺は行くぞ」という方には前もって意見をアンケートというかたちで聞いておくとか、自分が言ったことに対して答えてくれていたら気持ちとしてはよいのかと思うのでそういうところも検討していただければと思う。

小笠原

だいたいみなさんに質問していただいた。大沼議員がおっしゃっていたように、台風とか何か月にいっぺん来ることよりも、むしろ交通渋滞が一番心配である。ラディアンでイベントが終わって、500人のホールからいっせいで出て行く時は20分、30分はなかなか出られない状況があるときに、その裏の役所に行こうと思っていたら行けなくて20分、30分手続きが遅れるとことが今の状況なら多々ありそうである。出入口の確保を絶対やっていただかないと困る。先日の賛成討論でも言ったが、ラディアンとの一体的な使い方をしていかないとあそこに作る意味がない。ラディアンももう一回見直す部分があるとしていっぺんに何もかも揃わないが何か月かするところいうすとか、計画的に進めていただくことが重要だと思っている。渋滞は絶対住民の方の怒りに変わると思うので、ある程度対応策は考えていると思うがいかがか。

企画政策課長

役場用の出入口を増やすということだが、現状としては考えていないがその辺ができるかどうか、これは敷地に関わる部分なので、検討の余地があるかと思う。ラディアンとの一体的な利用についてはそこも含めて考えていく。今回の基本計画の中でどこまで示すのかということもあるが、次の段階として先ほどの出入口の確保、ラディアンとの一体的な利用としっかりと考えていく。

議長

色々な質問の中で、プレ説明会みたいな形で行われ、これは町民が思っている不安点ではないかと思う中で、良い方向になってきたが、先ほど財政計画が立てられないみたいな話があった。作って見ないと出ないというのはおかしいと思って質問しようと思った。露木議員の一般質問の中で、この計画は企画政策課が作成した、額については財務課がタッチしていないということもあった。それではこの計画は次の説明会をしても同じだと。次の説明会をするときは、さきほど副町長おっしゃったが、これ進めるにあたって町長、副町長しかいない。企画政策課が何をやっても財政課は知らない、企画政策課一所懸命やっても防災安全課は知らないではこの計画は進まないし、町民の納得はえられないということを強く感じた。一つ防災のことで、水がとおっしゃったときに私たちは報告を受けているが、県道の冠水に対して、県は



すでに工事をしていたはずである。当然町も受けているはずだが、そういうことも知っているかどうか分からないが町民に説明して、これについてはこういう動きがあると、こういう流れがあると言わなければならない。担当課が違うから知らなかった、もしくは私が発言することではないというのでは次に進まない。副町長がさきほどおっしゃっていただいたが、現課長の西岡政策課長、副町長に聞くが、これからの進め方は慎重に進めなければならないものに対して、横のつながりによって進めていくことについてどのように思っているのか伺いたい。

副町長

ぜひ、横のつながりをもって、全町あげて町民の皆様のご理解をえるような将来に対して不安を払拭できるような対話的な説明会にしていきたいし、ここは言えないことではなく明確な説明を誰かができるという参加体制を取っていきたい。

企画政策課長

私のほうから他の課にということはおこがましいが、全町体制の中で説明をしなければいけないと思っているし、企画政策課だけではやっているわけではなく、今回財政シミュレーションに対しては財務課に作成していただいた。ただ、財務課の出席まではなかったということである。今副町長から話もあった通り、全町挙げてどんな質問にも答えられるしっかりと体制での説明会を進めるべきだと思っている。

議長

今みたいな説明では弱いと思う。何を言わせなかったかと言うと、企画政策課と財務課はバラバラに動いていたのではないかという不安がある。それに対して、今回の組織の変更とか、担当はそれをふまえてこうしたとかの発言が無く、前回と同じではないかと思ってしまう。それについてはどの体制で進めていくのかという意思表示や気持ちが表われていないと強く感じている。これに向かって31年度どういう体制で何をしようとしているかというところをもう一度聞かせていただきたい。

副町長

町長が今日出席していないので代理ということで発言するが、今年度末の人事は、町長の方針で新庁舎向け仕事内閣というか、現実に工事について詳しい人、実際に計画から実行へと事業計画を実施するというシフトを考えた人事であったと思う。具体的には政策担当参事ではなく政策担当部長を置き、その元に、政策総務部にあった財務課を編入し、財務課の方は引き続き二宮課長になる。企画政策課長には都市部から詳しい人が来る。その下でも色々な工事の経験のある職員が来るという人事を町長は考えた。議長がおっしゃった人事だけではなくて、先ほど防災課の話も出たが、新庁舎をひとつ造るということで、まちづくりで全ての課に関わることなのに、職員全員が同じような理解をしていたかと反省することしきりである。説得力のある各部の長が参加するような説明会というか、名称は説明会だが、町はこうやって進めたいということで、基本構想・基本計画案を取らせていただきたいと、この案でお願いしたいと自信をもって説得できる各部長の参加を望んでいきたいと思う。政策会議や課長会議等で、庁舎の今後の説明についてどのようなデータを用意し、どのように説明をしたら良いか、より多くの住民の理解が得られるのかということについても検証を進めていきたいと思う。この結

果については、町長と新しいスタッフの方と特別委員会の皆様の意見を十分に説明して共通理解をしていきたい。今後特別委員会等の意見をさらに受け止めて修正案を作っていくよう全町的に作っていくよう話をしていきたいと思っている。

議長 今回の新庁舎然り、公共施設再配置然りで、今後のまちづくりには財政が非常に大きな役割を担うので、町の財政も一緒に進めなければいけないとして、今回財務課を企画政策担当部長のもと、みんなで将来を作っていくという意思表示でよろしいか。

副町長 はい。

委員長 質疑を終わったということで私たち次回4月24日を考えている。両方に何うが、欲しい資料、裏づけのデータとして特別委員会に出してほしいとかあるか、または出せるとか。今すぐでなくても、明日とか後日お願いをして次回に何かを出していただけるようにするとか、それをやったほうがよろしいか。昨日言っていたことはボーリング調査のデータ、交通調査のデータとかだが。

坂本 議会でこんな会議をしても、何も今日は進展していない。副町長、こんなこと言っていたら何もできないと思う。行政も我々も危機感をもってやるのだと、同じ説明をされただけで、時間の無駄である。4月24日に委員会をやるなら、そうだというのを出してもらわないと。それが出ないならばやる必要ないと思う。

委員長 どういうものがほしいのか。

坂本 縮小した案とか、財源がどういうふうに変ったのかとか。

副町長 基本構想、基本計画の修正については、内部でまだ検討が始まったばかりで新体制になって4月24日になれば、あるいはその前にやりとりがあってこういう意見はどうかとふまえて24日には新体制で出向き、今日よりははるかに充実した特別委員会になると思う。今日は旧体制で望んでいるので、この程度しか話せないし、実際の検討はまだ進んでいる途上である。

坂本 24日までに新しい人たちと専門家の財政の係の人も呼んで一緒に来てほしい。もっと前進する話し合いがしたい。今引継ぎ中だというのは分かった。24日まで20日間あるので、進展したところを我々に説明していただきたい。

副町長 はい。

委員長 進展させてほしいことを用意できる、できないがあるので、こちらからもある程度望みを伝えないといけない。

坂本 そんなことは自分たちでやるのである。こちらが言ったからやる、やらな

いではない。

(「今のようなやりとりはテープで分からなくなる」との声あり)

委員長 必要な資料は求めたいと思う。坂本委員のおっしゃることも、今副町長が答えたので何らかは出てくるのかと。積極的にそちらから出していただけることもあるのかなと思う。さきほど学校関係の話があり、教育委員会の決を経てという話だがいつか。

副町長 スケジュール表を持っていないので分からないが、私の記憶だと 4 月 19 日が 4 月教育委員会定例会の日だったかと思う。

委員長 これも出していただくことは可能か。

副町長 はい。ただし、政策会議の議を経て正式な素案になるので、そのへんは各課横断的ということで話をし、政策会議の議を経る前に教育委員会の付議事項の結果みたいなことは話せるかと思う。教育委員会で承認されたということを経る前でも示せるかと思う。

委員長 町民の声を聞いたパブコメ検討会、説明会の結果がまだ出ておらず、まだとおっしゃっていた。整理をしたものが今年度中に出したいとか、4 月だとかおっしゃっていたが 24 日にそろえることはできるのか。

企画政策課長 パブコメの結果、議事録、検討会の意見書は十分そろえられると思う。もう少し前に出せるのではないかと思うので、議会事務局と調整をしながらメール配信を駆使し前には示せるようにがんばりたいと思う。

副町長 坂本議員のご指摘に対してだが、4 月 24 日の次回の特別委員会までに出すのがゴールではなくても、途中経過であっても示し、さらなる修正、修正意見を加えるとなるとそれを受け止めてやるとのことである。次回 4 月 24 日には具体的には修正の中身の途中経過であっても示す予定である。

委員長 次回は 4 月 24 日の 9 時半ということによろしいか。  
(「異議なし」との声あり)  
議会で専門家を呼んで、一度勉強会をする件だが、善波議員、4 月 11 日の件を話してもよろしいか。

善波 まだその件は土屋さんに確認とれていない。確認が取れ次第である。

委員長 お呼びして、一度勉強会を開催する予定である。もしよろしければ職員の方も同席していただければと思う。他に委員の皆様意見はあるか。  
(「無し」との声あり)  
無ければこれで特別委員会を閉会とする。

閉会 14 時 53 分